

Nikon

ワイヤレストランスミッター

WT-5

.....
使用説明書



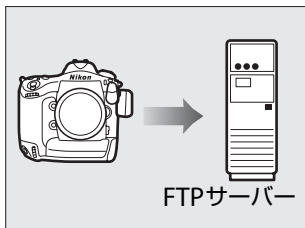
Jp

WT-5を使ってできること

この使用説明書では、WT-5を使用してカメラをパソコンまたはFTPサーバーに無線で接続する手順について説明しています。WT-5を使ってできることは次の通りです。

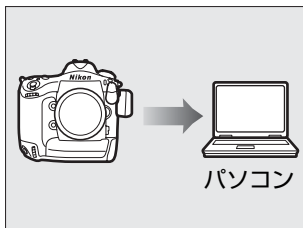
1 撮影した静止画および動画を送信する

FTP画像送信モード



「ネットワークガイド」 ㊦47

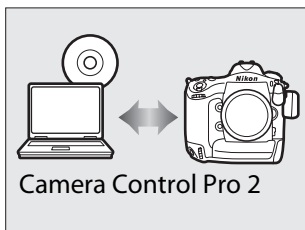
PC画像送信モード



「ネットワークガイド」 ㊦16

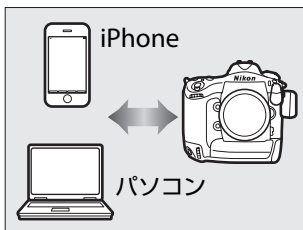
2 カメラをコントロールして撮影したり、 画像データを確認したりする

カメラコントロールモード



「ネットワークガイド」 ㊦21

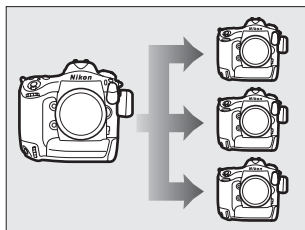
HTTPサーバーモード



「ネットワークガイド」 ㊦24

3 複数のカメラを連動してリリースする

連動リリースモード



「ネットワークガイド」 ㊦51

- 詳しくは「カメラをパソコンまたはFTPサーバーに無線で接続する」(㊦5)をご覧ください。

最新情報

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

商標説明

- CompactFlash™ (コンパクトフラッシュ) は米国SanDisk 社の商標です。
- XQDはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

アップル・パブリック・ソース・ライセンスについて

本製品に含まれるApple mDNS ソースコードは、アップル・パブリック・ソース・ライセンスの諸条件によって保護されています。アップル・パブリック・ソース・ライセンスは、<http://developer.apple.com/opensource/> から入手可能です。

Copyright (c) 2011 Apple Computer, Inc. All Rights Reserved.

本ファイルは、アップル・パブリック・ソース・ライセンスバージョン2.0 (以下「ライセンス」といいます) に定め、これに従うオリジナルコードまたはその修正版を含みます。お客様は、ライセンスを遵守しない限り、本ファイルを使用できません。本ファイルを使用する前に<http://www.opensource.apple.com/license/apsl/> からライセンス証書を一部入手し、これをお読みください。

ライセンスに基づいて頒布されるオリジナルコードおよび全ソフトウェアは、明示または黙示を問わず、いかなる保証も伴わず「現状のまま」頒布されます。また、アップルは、本契約により、商品性、特定の目的についての適合性、安居権または第三者の権利を侵害していないことを含みこれらに限られないすべての当該保証を放棄します。ライセンスに基づく権利および制限を管理する特定の条項に関してはライセンス証書をご覧ください。

WT-5をご使用になる前に「電波に関するご注意」および「安全上のご注意」(□v ~xi) をよくお読みください。

電波に関するご注意

- 1** 本製品は電波法に基づく認証および技術基準適合認定を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 2** 本製品はご購入された国の電波に関する法律に準拠しており、本製品の無線機能はご購入された国以外ではご使用になれませんのでご注意ください。ご購入国以外でのご使用については、弊社では一切の責任を負いかねます。ご購入された国が不明確で判断ができないときはお近くのサービス機関またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 3** 電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かない場合があります。）
※ 2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
- 4** 本製品は、技術基準適合認定を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品に印刷してある証明ラベルをはがすこと
- 5** 本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 1** 構内無線局（免許を要する無線局）
 - 2** 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

- 6 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

この機器は、電波法に基づく認証を受けており、機器に添付されている以外の証明ラベルは次の通りです。






2.4GHz帯は変調方式としてDSSS、OFDM変調方式を採用し、干渉距離はIEEE802.11b/gの場合は40mです。




5GHz帯域の電波を使用している機器は、インフラストラクチャーモードの100～140chを除き、屋外での使用は法律により禁止されています。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくご使用になり、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。表示と意味は、次のようになっています。

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



バッテリーを取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにカメラの電源（バッテリーやACアダプター）を取り出すこと



プラグを抜く

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。



保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

注意



感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。



使用注意

カメラの電源がONの状態、長時間直接触れないこと

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



保管注意

製品は、幼児の手の届くところに置かない

ケガの原因になることがあります。

注意

航空機内に持ち込む時は、離着陸時にはカメラの電源をOFFにすること

飛行中は無線機能を使用しないこと

病院で使うときは病院の指示に従うこと

本機器が出す電磁波や無線電波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。(無線LANシステムが装備されている航空機では、離着陸時を除き無線機能を利用できる場合があります。詳しくは航空会社にお問い合わせください。)

 使用注意

 禁止

本機器は布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

 放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

ご確認ください

- 本製品を安心してお使いいただくために
本製品は、当社製のカメラに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。
 - 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 大切な撮影データを送信する前に
大切な撮影データ（結婚式や海外旅行など）を送信する前には、必ず送信テストを行って正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。
- 保証書について
この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。
- 使用説明書について
 - この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
 - 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
 - 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
 - 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービス機関にて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

● 著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

● 本製品は無線LAN機器としてお使いください。万一、無線LAN機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

● 本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

目次

WT-5 を使ってできること	ii
電波に関するご注意	v
安全上のご注意	vii
ご確認ください	x
はじめに	1
WT-5 のネットワーク機能について	2
WT-5 の取り付け方	4
カメラをパソコンまたは FTP サーバーに 無線で接続する	5
ステップ 1：カメラと WT-5 の準備を行う	7
ステップ 2：通信に使用する機器として WT-5 を選ぶ	8
ステップ 3：接続ウィザードで接続設定を登録する	8
ステップ 4：動作モード別の設定を行う	16
カメラで作成した無線 LAN の設定をパソコンにも設定する	22
資料	25
パソコンまたは iPhone を無線 LAN に接続する	25
Wireless Transmitter Utility を 使用して接続設定を行う	33
トラブルシューティング	45
主な仕様	46
索引	47
アフターサービスについて	51

はじめに

ワイヤレストランスミッター WT-5をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

本文中の記号について

使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探るときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

必要な基本知識

使用説明書は、無線LAN、FTPサーバーに関する基本的な知識のあるお客様を対象としています。無線LANアクセスポイント、FTPサーバー等の動作環境および設定方法については、各メーカーにお問い合わせいただくか、市販の参考書籍などでご確認ください。Windows 7、Windows Vista、Windows XP ProfessionalとMac OS Xでの無線LAN接続時の設定方法については、接続先設定用ソフトウェアWireless Transmitter Utilityのヘルプもご参照ください。

カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

使用しているカメラのイラストについて

使用説明書では、D4のイラストを使用しています。

使用説明書で使用する画面について

使用説明書では、Windows 7 Ultimate およびMac OS Xの画面を主に使用しています。OSの種類やバージョンの違いによって、画面の外観や操作が使用説明書に掲載されているものと一部異なる場合があります。OS 特有の操作や表示画面については、ご使用のOSの使用説明書をご覧ください。

WT-5のネットワーク機能について

WT-5で使用できるネットワーク機能（動作モード）は次の通りです。

FTP画像送信モード	メモリーカードに記録した静止画および動画、撮影直後の静止画をパソコンやFTPサーバーに保存できます。
PC画像送信モード	
カメラコントロールモード	別売のCamera Control Pro 2で、カメラをコントロールしたり、撮影した静止画および動画をパソコンに保存したりできます。
HTTPサーバーモード	パソコンやiPhoneのWebブラウザからメモリーカードに記録した静止画の閲覧やリモート撮影ができます。
連動リリースモード	マスターカメラのリリースに連動して、複数のリモートカメラをリリースさせることができます。

各機能の詳しい使用方法については、カメラに付属の「ネットワークガイド」を参照してください。

FTPサーバーについて

- Windows 7 Ultimate/Professional/Enterprise、Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise、Windows XP ProfessionalおよびMac OS Xの場合は、OSに標準装備されているFTPサーバー機能（IIS（Internet Information Services）やFTPサービスなど）を利用してFTPサーバーを構築できます。
- インターネットを経由したFTPサーバーへの通信、およびサードパーティー製FTPソフトによって構築したFTPサーバーでの動作はサポートしておりません。
- FTPサーバーの構築方法については、カメラに付属の「ネットワークガイド」をご覧ください。

HTTPサーバーモードについて

インターネットを経由したHTTPサーバーモードの動作はサポートしておりません。

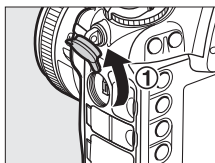
ルーターを経由した接続について

PC画像送信モードまたはカメラコントロールモードの場合、ルーターを経由して別のネットワークに接続することはできません。同じネットワーク内のパソコンとのみ接続できます。

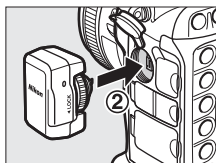
ポート番号について

- FTP 画像送信モードで接続する場合、FTP サーバーの種類が **[FTP]** のときは TCP ポート 21、32768～61000、**[SFTP]** のときは TCP ポート 22、32768～61000 を使用します。
- PC 画像送信モードまたはカメラコントロールモードで接続する場合、TCP ポート 15740、UDP ポート 5353 を使用します。
- ファイアーウォールを設定している FTP サーバーでは、ファイアーウォールにポート番号の例外設定を行わないと画像の転送ができない場合があります。

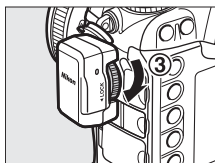
WT-5の取り付け方



① カメラの拡張端子カバーを外して、真上まで回す



② WT-5のコネクターをカメラの拡張端子に奥まで差し込む



③ 取り付けダイヤルを回してしっかりと固定する

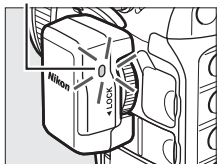
WT-5の電源について

WT-5には、動作用バッテリーや電源スイッチはありません。電源はカメラから供給されます。

通信状態について

カメラとパソコンの通信状態は、WT-5のLEDランプで確認できます。

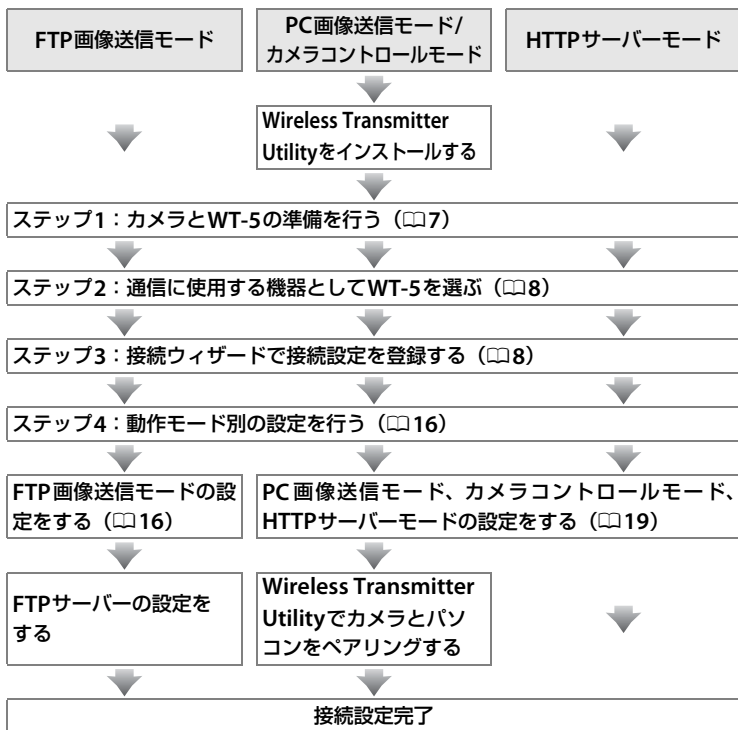
LEDランプ



状態	LED
ネットワークに接続中です。	○ (緑点灯)
ネットワーク機能を使用できます。	⚙ (緑点滅)
エラーが発生しています。	⚙ (橙点滅)

カメラをパソコンまたはFTPサーバーに無線で接続する

カメラをパソコンまたはFTPサーバーに無線で接続する手順は次の通りです。



ネットワーク機能を使用する

カメラとWT-5の接続を完了した後、ネットワーク機能を使用する方法については、カメラに付属の「ネットワークガイド」をご覧ください。

カメラに使用する電源について

接続先の設定中や画像送信時に電源がきれないように、残量が充分にあるバッテリーを使用するか、カメラに対応した別売のACアダプターをお使いください。カメラに装着するバッテリーの充電方法やACアダプターについては、カメラ本体の使用説明書をご覧ください。

Wireless Transmitter Utilityについて

PC画像送信モードまたはカメラコントロールモードで接続するには、お使いのパソコンにWireless Transmitter Utility (ワイヤレストランスミッターユーティリティ) がインストールされている必要があります。インストール方法についてはカメラに付属の「ネットワークガイド」をご覧ください。

連動リリースモードで使用する

カメラを連動リリースモードで使用する場合は、接続設定の登録は不要です。カメラに付属の「ネットワークガイド」をご覧ください。

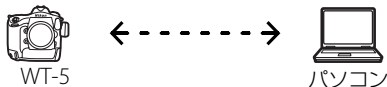
無線LAN接続時の通信モードについて

無線LANで接続する場合、次の設定方法を選択できます。

インフラストラクチャーモード：



アドホックモード：



WT-5用の無線LAN環境を設定する場合

この使用説明書はすでに無線LAN環境が設定されているお客様を対象としています。インフラストラクチャーモードで接続する場合は、パソコンと無線LANアクセスポイントがすでに接続されていることを前提に説明しています。

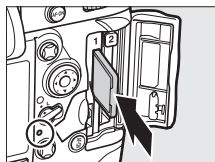
ステップ1：カメラとWT-5の準備を行う

接続を行う前に接続先のパソコンを起動して、ユーザーがログインしていることを確認してください。

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしないでください。

1 メモリーカードをカメラに挿入する

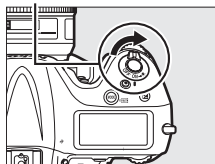
- カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- カメラコントロールモード (☐ii) で使用する場合は、メモリーカードを挿入しない状態でも使用できます。



2 WT-5をカメラの拡張端子に取り付ける (☐4)

3 カメラの電源をONにする

電源スイッチ



☑ WT-5の取り外し方

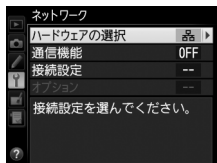
カメラの電源をOFFにして、WT-5を取り外してください。取り外したあとは、カメラの拡張端子カバーを取り付けてください。

ステップ2：通信に使用する機器としてWT-5を選ぶ

カメラが通信に使用する機器としてWT-5を選びます。

1 セットアップメニューの【ネットワーク】→【ハードウェアの選択】を選ぶ

- マルチセクターの▶を押すと、ハードウェアの一覧が表示されます。



2 【WT-5】を選ぶ

- Ⓚボタンを押すと【ネットワーク】画面に戻ります。

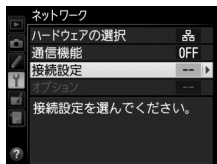


ステップ3：接続ウィザードで接続設定を登録する

カメラの接続ウィザードに従って、接続設定を登録します。

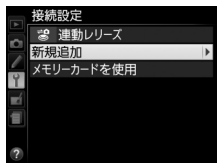
1 セットアップメニューの【ネットワーク】→【接続設定】を選ぶ

- マルチセクターの▶を押すと、カメラに登録されている接続設定の一覧が表示されます。



2 【新規追加】を選ぶ

- ▶を押すと追加方法の選択画面が表示されます。
- 接続設定がすでに9カ所設定されている場合は、【新規追加】は選べません。⌫ (FORMAT) ボタンで不要な接続設定を削除してください。

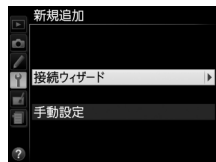


🔑 Wireless Transmitter Utilityで接続設定をする

Wireless Transmitter Utility (□6) を使用してカメラに接続設定を登録することもできます。詳しくは□33をご覧ください。

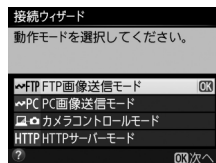
3 [接続ウィザード] を選ぶ

- ▶を押すと接続ウィザード画面が表示されます。



4 動作モード (2) を選ぶ

- いずれかのモードを選んで▶を押すと、接続設定名の入力画面が表示されます。



5 任意の接続設定名を入力する

- 入力した接続設定名は、セットアップメニュー [ネットワーク] の [接続設定] に一覧で表示されます。
- 登録名は16文字まで入力できます。文字はカーソル位置に挿入されます。
- OKボタンを押すと、無線設定方法の選択画面が表示されます。
- 変更しない場合は、そのままOKを押してください。



文字の入力方法について

接続先の設定などに必要なデータを入力する場合は、次の画面が表示されます。



- データ表示エリアに新しい文字を入力する場合は、マルチセレクターを操作して入力するキーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、**中央ボタン**を押します。
- データ表示エリアのカーソルを左右に移動する場合は、**左ボタン**を押しながら**◀**または**▶**を押します。
- データ表示エリアからあふれた文字は削除されます。
- 文字を1文字削除するには、**左ボタン**を押しながら**◀**または**▶**を押して削除する文字の上にカーソルを移動させ、**削除ボタン**を押します。
- データの内容を確認し、文字入力を終了する場合は、**決定ボタン**を押します。
- データの入力をキャンセルする場合は、**MENU** ボタンを押します。画面は1つ前の画面に戻ります。

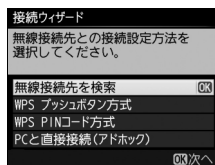
6 使用したい無線LANの設定方法を選ぶ

- お使いの通信環境に合わせて、無線LANの設定方法を選んで**▶**を押すと、設定画面が表示されます。
- 選んだ設定方法に応じて、下記のページにお進みください。

無線接続先を 検索	カメラの周辺の無線LANアクセスポイントまたはパソコンを検索して、接続したいSSIDを選びます。	11
WPS プッシュ ボタン方式	無線LANアクセスポイントにWPSプッシュボタンがある場合に、ボタンを押すだけで無線LANアクセスポイントに接続できます。	12
WPS PINコード 方式	カメラに表示されたPINコードを、パソコンで無線LANアクセスポイントに入力して接続します。	14
PCと直接接続 (アドホック)	アドホックモードで接続します。無線LANでパソコンまたはFTPサーバーと直接接続します。	15

無線接続先を検索

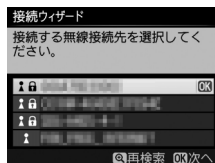
接続ワイザードの手順6 (□10) で [無線接続先を検索] を選んだ場合は、カメラの周辺にある無線LANアクセスポイントまたはパソコンを検索して、検出した接続先が表示されます。



1 接続先のSSIDを選ぶ

- ▶ を押すと、接続先の設定画面が表示されます。
- 無線LANアクセスポイントがSSIDを非公開にしている場合は、SSIDは空欄で表示されます。
- 🔍 ボタンを押すと無線接続先を再検索します。
- アイコンの意味は次の通りです。

	暗号あり
	インフラストラクチャー / アドホック



SSID が非表示に設定されている場合

無線LAN アクセスポイントで、SSID を表示しない設定にしている場合、検出されたSSID 一覧にSSID 名が表示されません。非表示のSSID に接続したい場合、空欄になっている項目を選択してください。SSID を入力する画面が表示されたら、接続したいSSIDを入力して **OK** ボタンを押してください。



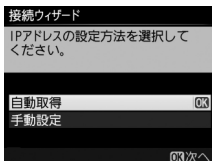
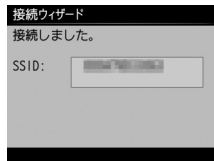
2 暗号キーを入力する

- 暗号ありの接続先の場合、暗号キーの入力画面が表示されます。暗号キーを入力して **OK** ボタンを押し、手順4へ進んでください。
- 暗号なしの接続先を選んだ場合は手順4へ進んでください。

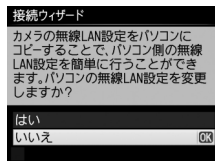


3 接続を確認する

- 接続に成功すると、右のような画面が数秒間表示されます。接続ウィザードの手順4 (□9) で選んだ動作モードに応じて、下記のページへお進みください。



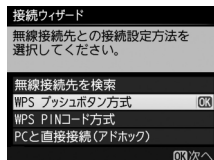
FTP画像送信モード (□16)



PC画像送信モード/
カメラコントロールモード/
HTTPサーバーモード (□19)

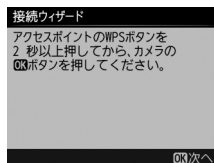
■ WPSプッシュボタン方式

接続ウィザードの手順6 (□10) で [WPSプッシュボタン方式] を選んだ場合は、WPS設定の待機画面が表示されます。



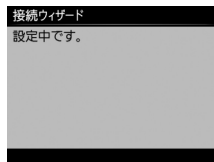
1 無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

- WT-5が無線LANアクセスポイントに接続します。
- WPSボタンについては、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。



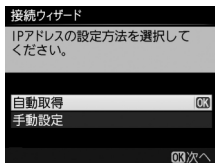
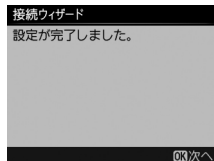
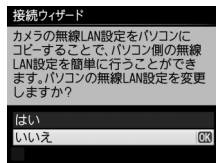
2 カメラの \odot ボタンを押す

- WT-5が無線LANアクセスポイントに接続します。



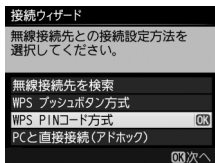
3 接続を確認する

- 接続に成功すると、右のような画面が表示されます。
- \odot ボタンを押して、接続ウィザードの手順4（ \square 9）で選んだ動作モードに応じて、下記のページへお進みください。

FTP画像送信モード（ \square 16）PC画像送信モード/
カメラコントロールモード/
HTTPサーバーモード（ \square 19）

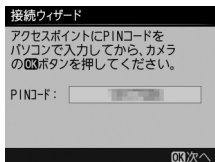
■ WPS PINコード方式

接続ウィザードの手順6 (□10) で [WPS PINコード方式] を選んだ場合は、WPS接続に必要なPINコードが表示されます。



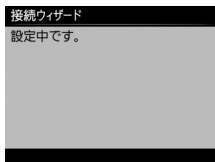
1 パソコンで、無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する

- 無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する方法については、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。



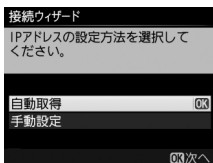
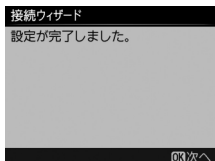
2 カメラのOKボタンを押す

- WT-5が無線LANアクセスポイントに接続します。

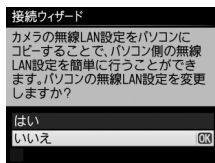


3 接続を確認する

- 接続に成功すると、右のような画面が表示されます。
- OKボタンを押して、接続ウィザードの手順4 (□9) で選んだ動作モードに応じて、下記のページへお進みください。



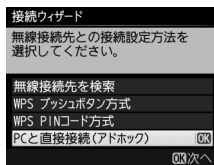
FTP画像送信モード (□16)



PC画像送信モード/
カメラコントロールモード/
HTTPサーバーモード (□19)

■ PCと直接接続（アドホック）

接続ウィザードの手順6（□10）で「PCと直接接続（アドホック）」を選んだ場合は、SSIDの入力画面が表示されます。



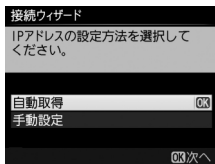
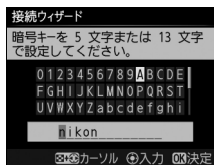
1 SSIDを入力する

- SSIDを入力してOKボタンを押すと、暗号キーの入力画面が表示されます。
- SSIDにはあらかじめ「WT」+MACアドレスが入力されています。

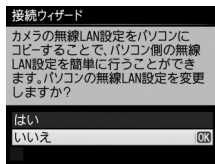


2 暗号キーを入力する

- 暗号キーにはあらかじめ「nikon」が入力されています。
- OKボタンを押して、接続ウィザードの手順4（□9）で選んだ動作モードに応じて、下記のページへお進みください。



FTP画像送信モード（□16）



PC画像送信モード/
カメラコントロールモード/
HTTPサーバーモード（□19）

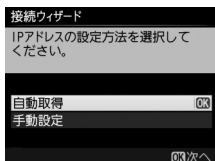
ステップ4：動作モード別の設定を行う

■ FTP画像送信モード

接続ウィザードの手順4 (□9) で [FTP画像送信モード] を選んだ場合は、続けて接続先FTPサーバーの設定を行います。

1 IPアドレスの設定方法を選んで設定する

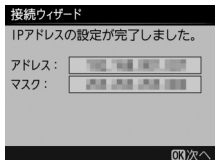
- IPアドレスの設定方法を選んで▶を押します。



自動取得	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。
手動設定	IPアドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 <ul style="list-style-type: none">• ◀または▶を押して、変更したい桁を選びます。• ▲または▼を押して、数値を変更します。• OK ボタンを押すと、IPアドレス設定完了画面が表示されます。

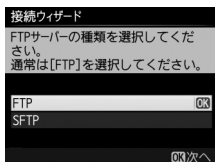
2 IPアドレスの設定完了画面でOKボタンを押す

- FTPサーバーの種類の選択画面が表示されます。



3 FTPサーバーの種類を選ぶ

- [FTP] または [SFTP] を選んで▶を押すと、IPアドレス入力画面が表示されます。

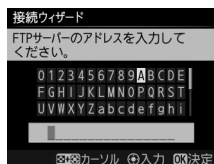


📌 ポート番号について

FTP画像送信モードで接続する場合、FTPサーバーの種類が [FTP] のときはTCPポート21、32768～61000、[SFTP] のときはTCPポート22、32768～61000を使用します。ファイアーウォールを設定しているFTPサーバーでは、ファイアーウォールにポート番号の例外設定を行わないと画像の転送ができない場合があります。

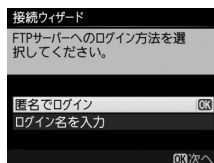
4 FTPサーバーのアドレスを入力する

- FTPサーバーのIPアドレスまたはURLを入力します。
- 入力画面での文字の入力方法については、「文字の入力方法について」をご覧ください（□10）。
- Ⓚ ボタンを押すと、カメラがFTPサーバーに接続します。接続に成功した場合は、ログイン方法の選択画面が表示されます。



5 ログイン方法を選ぶ

- FTPサーバーへのログイン方法を選んでⓀ ボタンを押します。



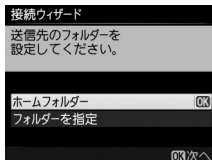
匿名でログイン	匿名でFTPサーバーにログインします。FTPサーバーが匿名でのログインを許可している場合のみログインできます。ログインに成功した場合は、送信先フォルダーの設定画面が表示されます。
ログイン名を入力	ログイン名とパスワードを手動で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 入力を完了してⓀ ボタンを押すと、FTPサーバーにログインします。ログインに成功した場合は、送信先フォルダーの設定画面が表示されます。

MACアドレスフィルタリングでアクセス制限されている場合

WT-5を接続する無線LAN環境がMACアドレスフィルタリングでアクセス制限されている場合は、MACアドレスフィルタリングにWT-5のMACアドレスを設定する必要があります。WT-5のMACアドレスは、カメラのセットアップメニューの「ネットワーク」の「オプション」にある「MACアドレス」で確認できます。

6 送信先フォルダーを設定する

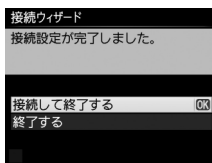
- 送信先のフォルダーを選んで▶を押します。



ホームフォルダー	送信先をFTPサーバーのホームフォルダーに設定します。設定に成功した場合は、[接続設定完了]画面が表示されます。
フォルダーを指定	送信先のフォルダー名を手動で入力します。送信先のフォルダーは、あらかじめFTPサーバー側で作成しておく必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> 入力を完了して OK ボタンを押すと、送信先のフォルダーを設定して[接続設定完了]画面が表示されます。

7 接続設定を完了する

- 終了の方法を選んで**OK**ボタンを押します。



接続して終了する	接続設定をカメラに登録して、登録した接続設定で通信を開始します。
終了する	接続設定をカメラに登録して終了します。

カメラの接続設定が完了しました。ネットワーク機能の使用方法については、カメラに付属の「ネットワークガイド」をご覧ください。

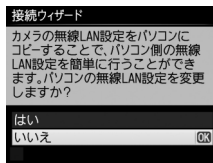
■ PC画像送信モード、カメラコントロールモード、HTTPサーバーモード

接続ウィザードの手順4 (□9) で [PC画像送信モード]、[カメラコントロールモード] または [HTTPサーバーモード] を選んだ場合は、続けてIPアドレスの設定を行います。

- ここではすでにパソコンに無線 LAN 環境が設定されている場合について説明しています。

1 右の画面で [いいえ] を選ぶ

- マルチセレクターの▶を押すと、IPアドレスの設定画面が表示されます。
- [はい] を選ぶと、パソコンにWT-5用の無線LAN環境を新規に設定できます (□22) (インフラストラクチャーモードの場合はMac OS 10.4、10.5を除く、アドホックモードの場合はMac OSを除く)。新規に接続先を設定した場合は、既存のネットワーク設定が上書きされる場合がありますのでご注意ください。



ルーターを経由した接続について

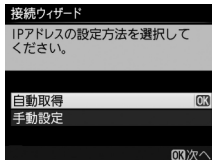
PC画像送信モードまたはカメラコントロールモードの場合、ルーターを経由して別のネットワークに接続することはできません。同じネットワーク内のパソコンとのみ接続できます。

MACアドレスフィルタリングでアクセス制限されている場合

WT-5を接続する無線LAN環境がMACアドレスフィルタリングでアクセス制限されている場合は、MACアドレスフィルタリングにWT-5のMACアドレスを設定する必要があります。WT-5のMACアドレスは、カメラのセットアップメニューの [ネットワーク] の [オプション] にある [MACアドレス] で確認できます。

2 IPアドレスの設定方法を選んで設定する

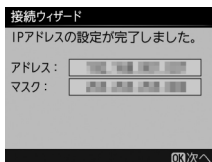
- IPアドレスの設定方法を選んで▶を押します。



自動取得	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。
手動設定	IPアドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ◀または▶を押して、変更したい桁を選びます。 ▲または▼を押して、数値を変更します。 Ⓞ ボタンを押すと、IPアドレス設定完了画面が表示されます。

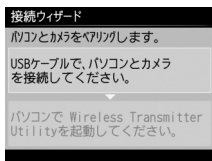
3 IPアドレスの設定完了画面でⓄ ボタンを押す

- PC画像送信モードまたはカメラコントロールモードの場合、USB接続の待機画面が表示されます。
- HTTPサーバーモードの場合、設定完了画面が表示されます。手順6に進んでください。



4 パソコンとカメラを接続する

- パソコンとカメラを、カメラに付属のUSBケーブルで接続します。

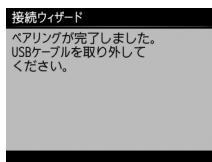
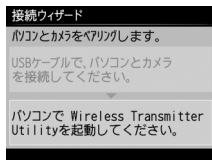


📎 ポート番号について

PC画像送信モードまたはカメラコントロールモードで接続する場合、TCPポート15740、UDPポート5353を使用します。ファイアーウォールを設定しているパソコンでは、ファイアーウォールにポート番号の例外設定を行わないと、WT-5とパソコン間で通信ができない場合があります。

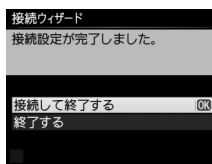
5 パソコンにインストールした Wireless Transmitter Utility (📖6) を起動する

- Wireless Transmitter Utilityが自動的にパソコンとカメラのペアリングを行います。
- ペアリングが完了すると右のような画面が表示されます。この画面が表示されたらUSBケーブルを取り外します。
- USBケーブルを取り外すと、接続設定完了画面が表示されます。



6 接続設定を完了する

- 終了の方法を選んでⓄボタンを押します。



接続して終了する	接続設定をカメラに登録して、登録した接続設定で通信を開始します。
終了する	接続設定をカメラに登録して終了します。

カメラの接続設定が完了しました。ネットワーク機能の使用方法については、カメラに付属の「ネットワークガイド」をご覧ください。

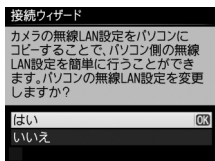
カメラで作成した無線LANの設定をパソコンにも設定する

カメラで作成した接続設定の内容をパソコンにコピーして、パソコンの無線LAN 接続の設定を自動的に変更できます。

- Mac OS X を使用している場合：アドホックモードで接続する場合、カメラで作成した無線LANの設定をパソコンにコピーすることはできません。インフラストラクチャーモードで無線LANの設定をコピーするときは、Mac OS X 10.6.8以降の環境が必要です。

1 接続ウィザードの右の画面 (☞19) で【はい】を選ぶ

- マルチセレクターの▶を押すと、USBケーブル接続の待機画面が表示されます。



2 パソコンとカメラを接続する

- パソコンとカメラを、カメラに付属のUSBケーブルで接続します。



3 パソコンにインストールした Wireless Transmitter Utility (☞6) を起動する

- パソコンで使用する無線LANアダプターの選択画面が表示されます。



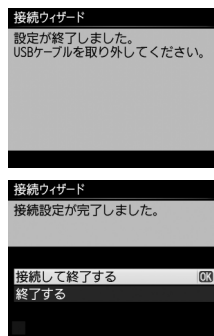
4 アダプターを選ぶ



- プルダウンメニューでアダプターを選んで、[次へ] をクリックすると、パソコンに設定がコピーされます。
- PC画像送信モードまたはカメラコントロールモードの場合は、パソコンとカメラのペアリングも同時に行います。

5 設定を完了する

- カメラに右の画面が表示されたら、USBケーブルを取り外して、Wireless Transmitter Utilityを終了してください。
- USBケーブルを取り外すと、接続設定完了画面が表示されます。



✓ アドホックモードの設定をコピーした場合

カメラの接続ウィザードで [PCと直接接続 (アドホック)] を選んでいる場合、接続設定をパソコンにコピーしても、カメラとパソコンは自動的に接続されません。コピーされた接続設定をパソコンで選んで、カメラと接続してください。

資料

パソコンまたはiPhoneを無線LANに接続する

WT-5の接続設定を完了した後に、パソコンまたはiPhoneから無線LANに接続するときは、次の操作を行ってください。

Windows 7の場合.....	25
Windows Vistaの場合	27
Windows XPの場合.....	29
Mac OS Xの場合.....	30
iPhoneの場合.....	31

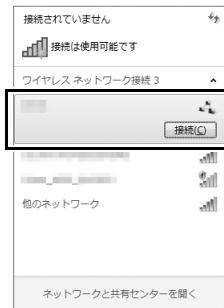
■ Windows 7の場合

1

タスクバーのインターネットアクセスアイコンをクリックする



2



接続先名 (SSID)を選んで、[接続]をクリックする



3



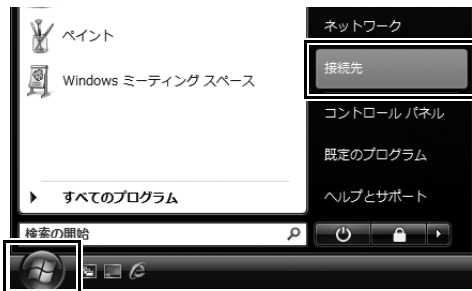
4 接続を確認する

接続が完了すると、タスクバーに右のアイコンが表示されます。



■ Windows Vistaの場合

1



Windowsの「スタート」ボタンをクリックし、「接続先」をクリックする

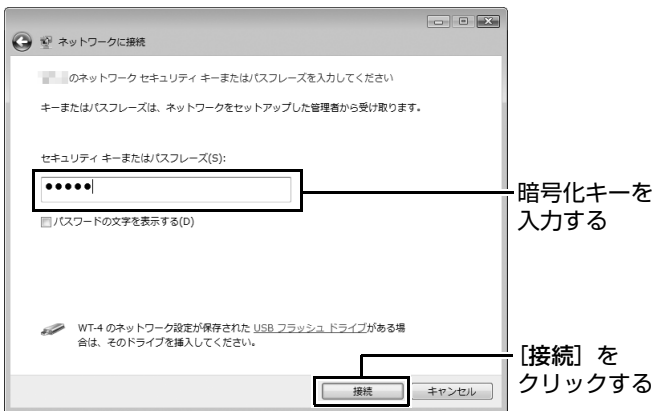
2



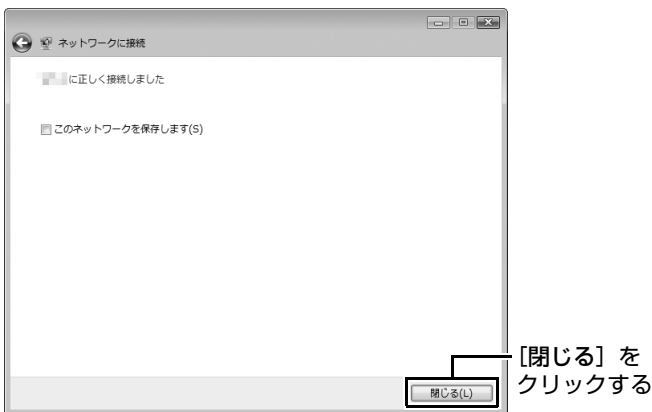
接続先名 (SSID) を選ぶ

「接続」をクリックする

3



4



5 接続を確認する

接続が完了すると、タスクバーに右のアイコンが表示されます。



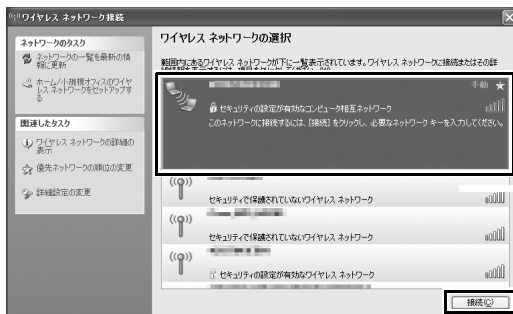
■ Windows XPの場合

1



タスクバーのワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

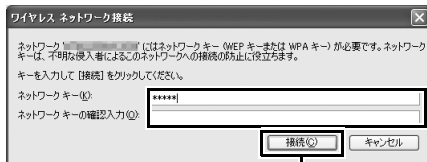
2



接続先名 (SSID) を選ぶ

「接続」をクリックする

3



暗号化キーを入力する

「接続」をクリックする

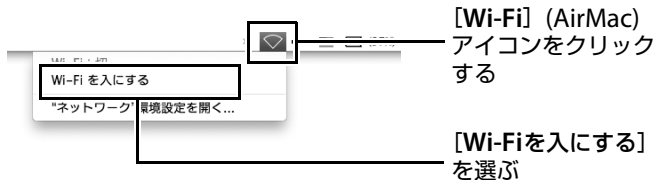
4 接続を確認する

接続が完了すると、タスクバーに右のアイコンが表示されます。



Mac OS Xの場合

1



2



3



4 接続を確認する

接続が完了すると、タスクバーに右のアイコンが表示されます。



■ iPhoneの場合

1 ホーム画面で【設定】をタップする

2



【Wi-Fi】をタップする

3



タップして【オン】にする

接続先名 (SSID) を選ぶ

4



暗号化キーを入力する

[Join] をクリックする

5 接続を確認する

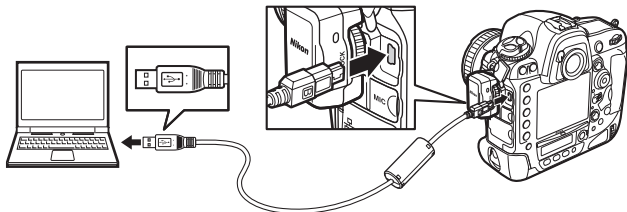
接続が完了すると、接続先名の横にチェックマークが表示されます。



Wireless Transmitter Utilityを使用して接続設定を行う

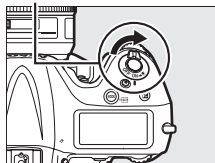
パソコンにインストールしたWireless Transmitter Utility (☞6) を使用して接続設定を行うこともできます。

- 1 カメラに付属のUSBケーブルで起動中のパソコンとカメラを接続する



- 2 カメラの電源をONにする

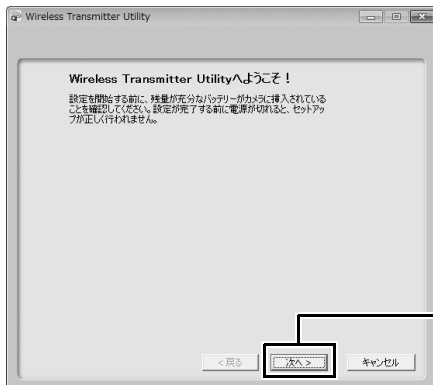
電源スイッチ



- 3 Wireless Transmitter Utilityを起動する

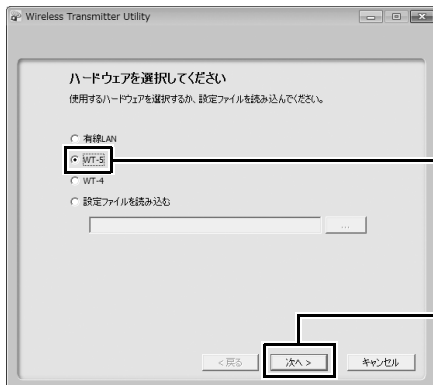
- **Windows** : デスクトップ上のWireless Transmitter Utilityアイコンをダブルクリックしてください。
- **Macintosh** : Dockに登録されたWireless Transmitter Utilityアイコンをクリックしてください。

4



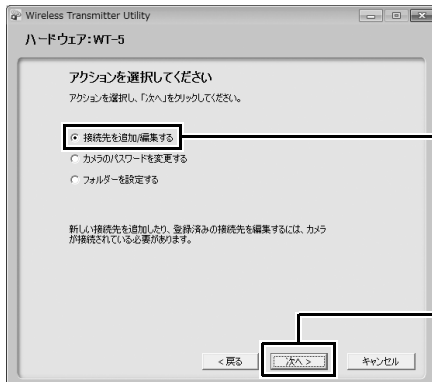
[次へ] をクリック
する

5



[WT-5] を選ぶ

[次へ] をクリック
する



[接続先を追加/編集する] を選ぶ

[次へ] をクリックする

転送先のフォルダーを変更する場合

手順6で [フォルダーを設定する] を選んで [次へ] ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。この画面でPC画像送信モードでパソコンと接続して画像を送信する場合の転送先フォルダーを設定できます。[...] ボタンをクリックすると、パソコン内のフォルダー一覧が表示され、転送先フォルダーを選択できます。

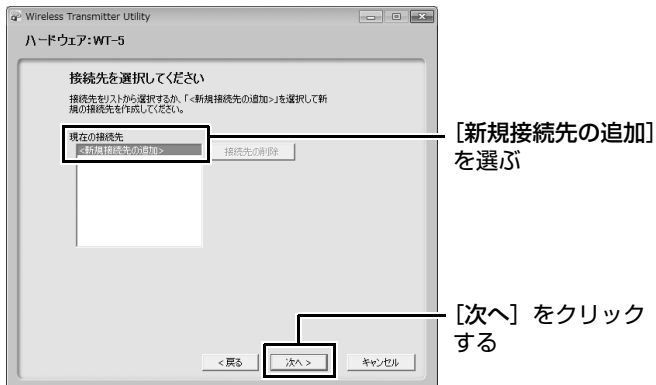
初期設定では、次のフォルダーに転送されます。

- Windows : \Users\" ユーザー名 "\Pictures\Wireless Transmitter Utility
- Mac OS : /Users/" ユーザー名 "/Wireless Transmitter Utility

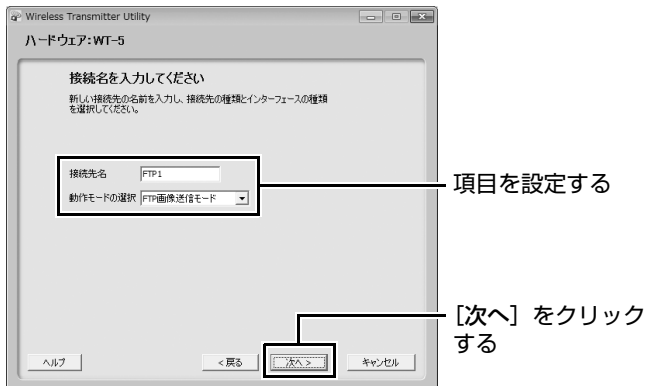
[ViewNX 2に表示] にチェックを入れると、WT-5との接続が終了した後にViewNX 2が起動して、転送した画像が表示されます。ViewNX 2がインストールされていない場合は選べません。



7

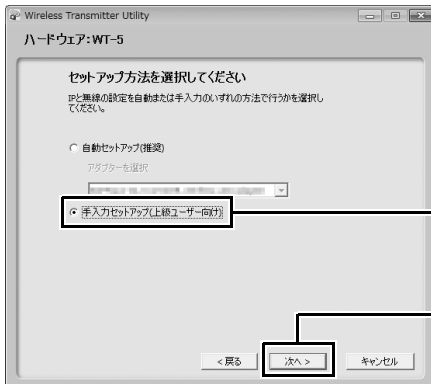


8



各項目を設定してください。

項目	説明
接続設定名	任意に設定できます（半角英数字16文字まで）。
動作モード	[FTP画像送信モード]、[PC画像送信モード]、[カメラコントロールモード]、[HTTPサーバーモード] から選べます (□ii)。

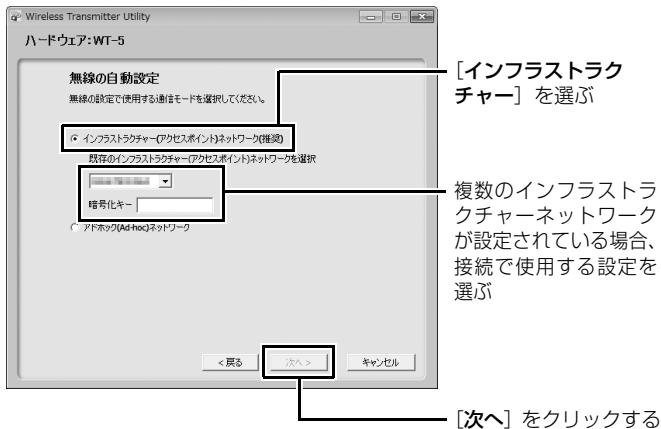


[手入力セットアップ] を選ぶ

[次へ] をクリックする

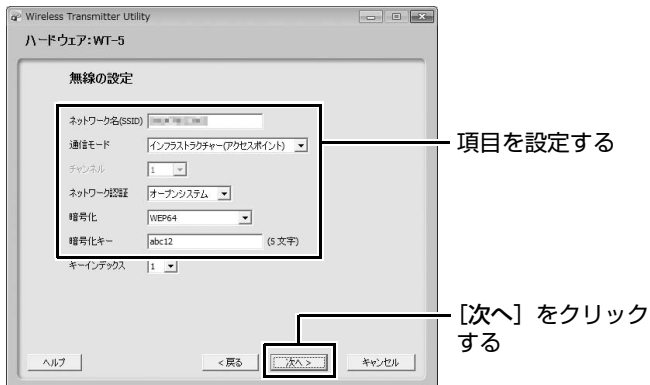
自動セットアップについて

インフラストラクチャーモードで初めて無線LANをご使用になる場合は「**自動セットアップ**」を選んでください。無線LANの設定を自動で設定できます。「**インフラストラクチャー**」を選んで「**次へ**」をクリックして、手順12 (□42) へお進みください。



次の場合には「**自動セットアップ**」は選べません。

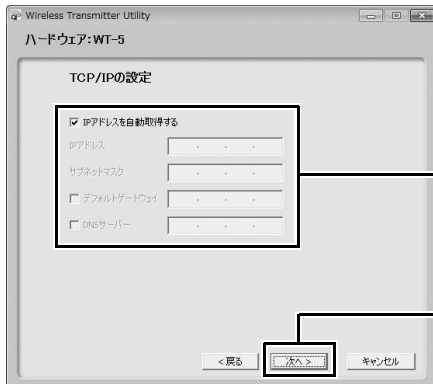
- すでに設定されている接続先を編集する場合
- サードパーティーの無線LANアダプターを使用している場合
- パソコンのネットワークの設定が固定IPの場合
- OS がMac OS Xの場合
- パソコンと無線LANアクセスポイントの接続が設定されていない場合



各項目を設定してください。

項目	説明						
ネットワーク名 (SSID)	パソコンまたはFTPサーバーが所属しているネットワークの識別名称を入力します。						
通信モード	[インフラストラクチャー (アクセスポイント)] モードと [アドホック (Ad-hoc)] モードのいずれかを選びます。						
チャンネル	アドホックモードの場合のみ通信で使用するチャンネルを選びます。ただしネットワーク名 (SSID) が一致するところで設定したチャンネルとは別のチャンネルが使用される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • [通信モード] で [インフラストラクチャー (アクセスポイント)] を選んだ場合は、チャンネルは自動的に設定されます。 						
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方法を選びます。[通信モード] で選んだ内容によって、選べる認証方法が異なります。 <table border="1" data-bbox="326 1043 946 1253"> <thead> <tr> <th>通信モードの設定</th> <th>選べる認証方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[インフラストラクチャー (アクセスポイント)]</td> <td>[オープンシステム]、 [共有キー]、[WPA-PSK]、 [WPA2-PSK]</td> </tr> <tr> <td>[アドホック (Ad-hoc)]</td> <td>[オープンシステム]、[共有キー]</td> </tr> </tbody> </table>	通信モードの設定	選べる認証方法	[インフラストラクチャー (アクセスポイント)]	[オープンシステム]、 [共有キー]、[WPA-PSK]、 [WPA2-PSK]	[アドホック (Ad-hoc)]	[オープンシステム]、[共有キー]
通信モードの設定	選べる認証方法						
[インフラストラクチャー (アクセスポイント)]	[オープンシステム]、 [共有キー]、[WPA-PSK]、 [WPA2-PSK]						
[アドホック (Ad-hoc)]	[オープンシステム]、[共有キー]						

項目	説明	
暗号化	データの暗号化の方法を設定します。ネットワーク認証で設定した内容によって、選べる暗号化の種類が異なります。	
	ネットワーク認証の設定	選べる暗号化
	[オープンシステム]	[データを暗号化しない]、 [WEP64]、[WEP128]
	[共有キー]	[WEP64]、[WEP128]
	[WPA-PSK]	[TKIP]、[AES]
[WPA2-PSK]	[AES]	
暗号化キー	<p>暗号キーを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [暗号化] を [WEP64] に設定した場合は、5文字（64ビット）の文字列または10桁（64ビット）の16進数を入力します。 • [暗号化] を [WEP128] に設定した場合は、13文字（128ビット）の文字列または26桁（128ビット）の16進数を入力します。 • [暗号化] を [TKIP] または [AES] に設定した場合は、8～63文字の文字列または64桁の16進数を入力します。 • [暗号化] を [データを暗号化しない] に設定した場合は、設定する必要はありません。 	
キーインデックス	<p>[暗号化] で [WEP64] または [WEP128] が設定されている場合に設定します。初期設定は [1] です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [暗号化] で [データを暗号化しない] を設定した場合は、設定する必要はありません。 	



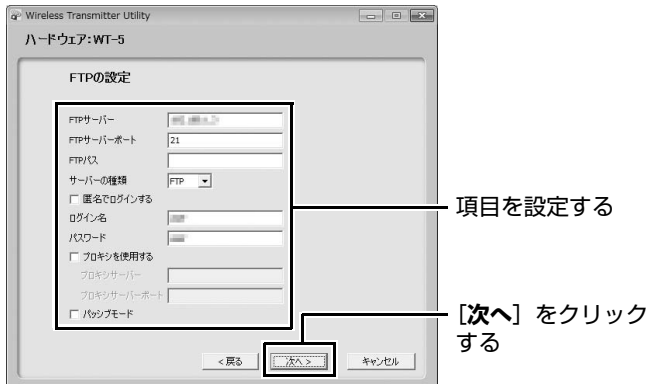
IPアドレスの設定方法を選択する

[次へ] をクリックする

項目	説明
IPアドレスを自動取得する	以下の項目を自動で取得します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動プライベートIPアドレッシングによってIPアドレスを設定します。 項目を手動で設定する場合は、 <input type="checkbox"/> (チェックを外す) にします。
IPアドレス	WT-5に設定するIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	WT-5に設定するサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイを使用する場合は、 <input checked="" type="checkbox"/> (チェックを入れる) にして、ゲートウェイのIPアドレスを入力します。
DNSサーバー	DNSサーバーを使用する場合は、 <input checked="" type="checkbox"/> (チェックを入れる) にして、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

IPの設定について

インフラストラクチャーモードでネットワーク内にDHCPサーバーがある場合は、**[IPアドレスを自動取得する]** を選びます。ネットワーク内にDHCPサーバーが存在しない場合は、**[IPアドレスを自動取得する]** を (チェックを外す) にして、お使いのパソコンや無線LANアクセスポイントに設定されているIPアドレスとは重複しないIPアドレスを設定してください。



手順8の【動作モード】(□36)で【FTP画像送信モード】を選んだ場合のみ表示されます。【FTP画像送信モード】以外を選んだ場合は手順13(□43)に進んでください。

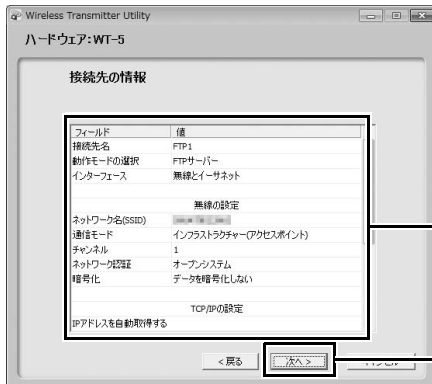
FTPサーバーの設定を行ってください。

項目	説明
FTPサーバー	FTPサーバーのIPアドレス（またはURL）を入力します。
FTPサーバーポート	FTPサーバーのポート番号を入力します。
FTPパス	送信した画像の保存先フォルダーを設定します。
サーバーの種類	【FTP】と【SFTP】のいずれかを選びます。
匿名でログインする	FTPサーバーが匿名でのログインを許可している場合にチェックを入れます。
ログイン名	FTPサーバーが接続を許可しているログイン名を入力します。
パスワード	FTPサーバーが接続を許可しているパスワードを入力します。
プロキシを使用する	プロキシサーバーを使用している場合にチェックを入れ、プロキシサーバーのIPアドレスとポート番号を入力します。
パッシブモード	パッシブモードで接続する場合にチェックを入れます。

ポート番号について

FTP画像送信モードで接続する場合、FTPサーバーの種類が【FTP】のときはTCPポート21、32768～61000、【SFTP】のときはTCPポート22、32768～61000を使用します。ファイアウォールを設定しているFTPサーバーでは、ファイアウォールにポート番号の例外設定を行わないと画像の転送ができない場合があります。

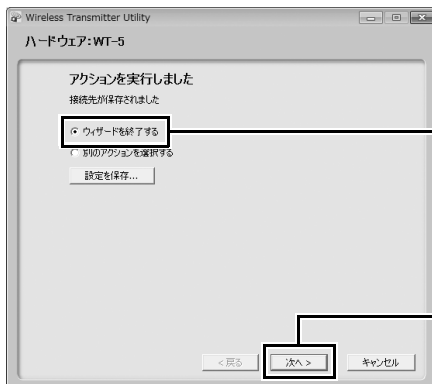
13



設定した内容を
確認する

[次へ] をクリック
する

14



[ウィザードを終了
する] を選ぶ

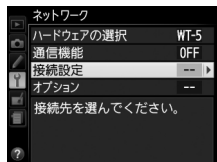
[次へ] をクリック
する

15 カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを取り外す

16 メモリーカードの入ったカメラにWT-5を装着し、カメラの電源をONにする

17 カメラのセットアップメニューの [ネットワーク] → [接続設定] を選ぶ

- マルチセクターの▶を押すと、接続設定の一覧が表示されます。



18 作成した接続設定を選ぶ

- ▶を押すと [ネットワーク] 画面に戻ります。



19 [通信機能] を選ぶ

- [通信機能] を選んで▶を押すと、設定項目が表示されます。



20 [有効] を選ぶ

- ▶を押すとネットワークに接続します。



トラブルシューティング

こんなときは	対処方法	📖
[ハードウェアの選択] で [WT-5] メニューが選べない。	WT-5とカメラの接続を確認してください。	4
電波状態が悪い。	無線接続先の位置を調節してください。	—
「TCP/IP エラーが発生しました」と表示される。	接続先の設定が正しくありません。無線LANアクセスポイントやFTPサーバー（またはパソコン）の設定を確認し、設定をやり直してください。	5
	ファイアーウォールの設定を確認してください。	16、20
「PCに接続中です」と表示されたまま変化しない。	ファイアーウォールの設定を確認してください。	20
「無線エラーが発生しました」と表示される。	パソコンやアクセスポイントの電源を入れてください。	—
	電波状態を確認してください。WT-5と接続先の間に障害物がある場合は取り除いてください。	—
	ネットワークの設定が違っている可能性があります。接続先の設定が正しく入力されているかどうかを確認してください。	5
「カードが入っていません」と表示される。	メモリーカードが入っていないか、正しくセットされていません。メモリーカードを正しくセットしてください。	7
途中で送信が中断して画像を送信できなかった。	カメラの電源をいったんOFFにして再度ONにすると、送信設定マークが表示された画像の送信を再開します。	—
HTTP サーバーモードで Web ブラウザーにカメラの URL を入力しても画面が表示されない。	Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用しない設定になっているか確認してください。	—

主な仕様

型式	WT-5
無線LAN関連	
準拠規格	IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
伝送方法	IEEE802.11a : OFDM IEEE802.11g : OFDM IEEE802.11b : DSSS IEEE802.11n : OFDM
周波数範囲 (中心周波数)	5180～5320MHz (36/40/44/48/52/56/60/64チャンネル) 5500～5700MHz (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/ 140チャンネル) 2412～2472MHz (1～13チャンネル)
通信距離 (見通し)	約180 m 無線LANアクセスポイントに大型アンテナを装備している場合。通信距離は遮蔽物や電波状態等により影響されます。
データ転送速度 (規格値※)	IEEE802.11a : 54M/48M/36M/24M/18M/12M/9M/6M (bps) IEEE802.11g : 54M/48M/36M/24M/18M/12M/9M/6M (bps) IEEE802.11b : 11M/5.5M/2M/1M (bps) IEEE802.11n (HT20) : 最大72M (bps) IEEE802.11n (HT40) : 最大150M (bps)
セキュリティ	認証方式 : オープンシステム、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化 : 128/64ビット WEP、TKIP、AES
無線設定	WPS対応
アクセス方式	インフラストラクチャーモード/アドホックモード
通信プロトコル	PTP-IP、FTP、SFTP
消費電力	最大 約1.2 W
動作環境	温度 : 0～40℃ 湿度 : 85%以下 (結露しないこと)
質量	約27 g (WT-5本体のみ)
外形寸法	約32.0 mm (幅) × 41.5 mm (高さ) × 30.0 mm (奥行き)

※表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

索引

マーク・英数字

DHCPサーバー	41
DNSサーバー	41
FTP画像送信モード	2, 5, 16
FTPサーバー	2, 5, 16, 42
HTTPサーバーモード	2, 5, 19
IPアドレス	16, 20, 41
LEDランプ	4
MACアドレス	17, 19
PC画像送信モード	2, 5, 19
PCと直接接続 (アドホック)	10, 15
PTP-IP	46
SSID	11, 15, 39
Wireless Transmitter	
Utility	5, 6, 21, 22, 33
WPS PINコード方式	10, 14
WPSプッシュボタン方式	10, 12

ア

アドホック	6, 10, 15
インフラストラクチャー	6, 38
エラー	45

カ

カメラコントロールモード	2, 5, 19
--------------	----------

サ

自動セットアップ	38
接続ウィザード	5, 8

タ

チャンネル	39, 46
通信状態	4

ハ

ハードウェアの選択	8
パッシブモード	42
ファイアーウォール	16, 20, 42
フォルダー	18, 35
ポート番号	16, 20, 42

マ

無線LANアクセスポイント	6, 10
無線接続先を検索	10, 11
メモリーカード	7
文字の入力	10

ラ

ルーター	3, 19
連動リリースモード	2, 6

ワ

ワイヤレストランスミッター	
ユーティリティ	5, 6, 21, 22, 33

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※ 内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。*宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00 (年末年始12/29～1/4を除く毎日)

*上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報をご覧いただけます。
*製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめます。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in Japan